Rd
RECYCLE DESIGN
2017
SPRING
No.267

西区浅間町５丁目
町内会の皆さん

特集 ごみと資源物の分別、どこがわからないの？

資源リサイクルレポート ペットボトル分別の現状と問題点

- 始末の一品
- リサイクルデザイナーの素顔
- りくみの分別講座
- 表紙に登場！「西区浅間町５丁目町内会」
- RD NEWS

特集

ごみと資源物の分別、どこがわからないの?

春になり、横浜市に転入されてくる方も多いことと思います。そこで今回は、転入された方たちに最初に知っていただきたい資源物とごみの分け方と出し方の基礎知識をご紹介します。分別を正しく理解して、より多くの資源物がリサイクルされるようにしていきましょう。

家庭から出る廃棄物の資源化を積極的に推進

横浜市では、ごみと資源物を10分別15品目に分別しています。具体的な内容は右頁の図のようになります。10分別とは、「古紙」「古布」「プラスチック製容器包装」「缶・びん・ペットボトル」「小さな金属類」「乾電池」「スプレー缶」「燃やすごみ」「燃えないごみ」「粗大ごみ」の10種類です。15品目とは、10分別の中の「古紙」を「新聞」「段ボール」「紙パック」「雑誌・その他の紙」の4品目に分け、「缶・びん・ペットボトル」をそれぞれの3品目に分けてカウントしたものです。分別の種類が少ない地域から転入してきた方は、分別の細かさに驚くかもしれませんが、横浜市は、それだけ家庭から出る廃棄物の減量と資源化に積極的に取り組んでいるリサイクル先進都市ということなのです。

2025年までを見通した長期的なごみ減量計画

横浜市は2003年にごみの減量を目指した「横浜G30プラン」を策定し、計画より5年早くごみの30%の減量を達成しました。2010年には「ヨコハマ3R夢(スリム)プラン」を策定。3R(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を推進し、中でも環境負荷を低減する効果が高いリデュースの取り組みに力を入れたプランです。現在は、2014年度から続く3R夢プランの第2期推進計画が進行中です。これは、2009年度を基準として、2017年度中にごみと資源物の総量を5%削減することが目標です。3R夢プランは、2025年までを見通した長期的な計画となっています。

困ったら収集事務所

分別方法がわからない場合には、「ミクショナリー」という横浜市のごみ分別の検索システムを活用するとよいでしょう(http://cgi.city.yokohama.lg.jp/shigen/bunbetsu/)。パソコンや携帯電話から利用でき、検索欄に品名を入力すれば、たちどころに分別を教えてくれます。スマートフォン用のアプリもあります。

収集日がいつなのかわからない場合は、集積場所に貼ってあることが多いので、まずは集積場所に行って確認しましょう。もし、自分が利用すべき集積場所がどこなのかわからない場合や分別ルールでわからないことがあるときは、収集事務所に問い合わせてください。

収集事務所は横浜市各区にあり、地域の環境事業推進委員と連携して分別ルールの啓発・指導をはじめ、さまざまな活動をしています。ごみと資源物に関することで相談したいことがある場合には、全力でサポートしてくれますので、「困ったら収集事務所」と覚えておくとよいでしょう。

みんなで使う集積場所

集積場所に出すときにもいくつかのポイントがあります。地域によっては複数の品目を同じ日に収集する場合があります。限られたスペースしかない集積場所を有効に活用するため、できるだけ品目ごとに置くようにしましょう(写真1・2)。集積場所がいつも整理整頓されていると、通りすがりのポイ捨て防止になるほか、回収作業もはかどります。

出し方のルールとマナーにもぜひご協力ください。

写真1:集積場所への正しい出し方

資源物の品目ごとに分けて置かれ、後から来た人も出しやすく、回収もしやすい。

写真2:集積場所への悪い出し方

すべてが混ざって置かれ、見た目にも見苦しく、回収漏れも起こりやすい。

ごみと資源物の分別一覧

資源集団回収

古　紙

新　聞

雑誌・その他の紙

段ボール

紙パック

紙パックマーク

古　布

びん

アルミ缶

缶・びん・ペットボトル

缶

びん

ペットボトル

PET

プラスチック製容器包装

小さな金属類

乾電池

スプレー缶

粗大ごみ

燃やすごみ

燃えないごみ

各区の収集事務所連絡先（電話番号）

鶴見区	045-502-5383
神奈川区	045-441-0871
西　区	045-241-9773
中　区	045-621-6952
南　区	045-741-3077
港南区	045-832-0135
保土ケ谷区	045-742-3715
旭　区	045-953-4811
磯子区	045-761-5331
金沢区	045-781-3375
港北区	045-541-1220
緑　区	045-983-7611
青葉区	045-975-0025
都筑区	045-941-7914
戸塚区	045-824-2580
栄　区	045-891-9200
泉　区	045-803-5191
瀬谷区	045-364-0561

正しい分別のちょっとした豆知識

ここからは、勘違いしやすい分別についていくつかご紹介します。

●新聞紙の折り込みチラシ

折り込みチラシの分別について、よく問合せをいただきます。「その他の紙に分別すればよいのか」「新聞紙に混ぜてしまっても大丈夫か」などです。正解は、「新聞紙と一緒に出してよい」です。

新聞紙のリサイクルでは、折り込みチラシの混入は許容範囲となっています。ただし、新聞紙の束に週刊誌やお菓子の箱などを挟み込んではいけません。週刊誌は「雑誌」に、お菓子の箱は「その他の紙」に分別してください。

●紙パックの分別

牛乳やジュース類、ヨーグルトの紙製容器など、紙パックにもさまざまな種類があります。分別の注意点は3つ。1つめは「紙パック」マークがついているかどうか。ついていれば「紙パック」として分別できます。2つめはパックの内側がアルミ貼りやビニール張りになっているかどうか。紙以外のものがコーティングされていたら「燃やすごみ」になります。3つめは汚れや臭いがついていないか。アイスクリームやヨーグルトの容器など、臭いや汚れが残る可能性があるものは「燃やすごみ」になります。

●「その他の紙」とは何か

「その他の紙」は新聞、雑誌、段ボール、紙パック以外のすべての紙だと勘違いしてはいけません。その他の紙に出してはいけないものがあるからです。「感熱発泡紙」「汚れた紙」「銀紙」「裏カーボン紙」「捺染紙・アイロンプリント紙」「カップ麺の紙製容器」「洗剤の紙製容器」「石けんの個別包装紙」などは「燃やすごみ」として出してください。

●ペットボトルの正しい分別

ペットボトルは、「缶・びん・ペットボトル」として分別します。ただし、キャップとラベルは「プラスチック製容器包装」です。（※3ページを参照）

●スプレー缶の分別

スプレー缶はそのまま「スプレー缶」に分別しますが、キャップは「プラスチック製容器包装」です。また、缶には穴を開けずに、そのまま出してください。

資源リサイクルレポート

ペットボトル分別の現状と課題

「資源リサイクルレポート」は、リサイクルに関するさまざまな話題を紹介します。
今回は、「缶・びん・ペットボトル」を選別する緑資源選別センターを取材してきました。
そこでわかったペットボトルの分別の現状と今後の課題についてレポートします。

取材・撮影協力：緑資源選別センター

キャップとラベルの分別がなかなか進まない

読者の皆さんもよくご存じのように、ペットボトルはキャップとラベルを「プラスチック製容器包装」に分別し、ボトル本体を「缶・びん・ペットボトル」に分別することになっています。しかし、キャップやラベルがついたままのペットボトルが出されてしまうケースが後を絶ちません。

横浜市では総合的な判断のもとに、キャップやラベル付きのペットボトルも収集し、選別センターでキャップを手作業で外しています。しかし、すべてのキャップを外すことは不可能であり、約2割のペットボトルはキャップやラベルがついたままです。ペットボトルに限らず、資源物は単一の素材になるほど高品質の原料となり、より円滑な資源循環が可能になるのですが、現在のペットボトルの分別状況は、高品質とは言えない状態なのです。

横浜市民約370万人分のペットボトルの品質を向上させるには、皆さんの分別の協力が必要不可欠です。ところが、町内会に加入していない世帯や新規転入者、単身世帯の方々には、横浜市や自治会・町内会の皆さんの声が届きにくいため、広域的な広報だけでは分別ルールをお知らせするのが難しいところがあります。すべての人にどのようにして正しい分別を普及させていくかがとても難しい課題となっています。

読者の皆さんにも引き続き、分別知識の普及とご協力をお願いいたします。

選別処理を終えたペットボトル。

選別センターに搬入された「缶・びん・ペットボトル」の状態。

袋を破った後、ビニール袋やペットボトルを手で選り分ける工程。

家庭用ウォーターサーバーのボトル。これもキャップを外す必要がある。

キャップを取り除く工程。処理量が多いため、ラベル除去は不可能な状態。

梱包されたペットボトル。キャップとラベルが残っているのが見える。

始末の一品

リメイク料理編

今月の残りもの料理【 煮魚（鯖のみぞれ煮 鰯のしょうが煮）】

残ってしまった煮魚料理は、次に食卓に出すときでもそのまま温め直すことが多いと思います。しかし、たまには思い切ったアレンジで別料理にするのも変化があって楽しいものです。

鯖入り炒り豆腐

材料（2人分）

●鯖のみぞれ煮：2切れ　●木綿豆腐：½丁　●野菜：人参（細切り⅓本分）、いんげん（小口切り4本）、しょうが（千切り少々）　●だし、煮汁、白ごま、しょう油：適量

❶鍋に豆腐を入れ、中火で崩しながら水気がなくなるまで炒る。
❷野菜と鯖を❶に入れ、鯖をほぐしながらよく混ぜる。
❸煮汁とだしを合わせて1カップにして❷に入れ、汁気がなくなるまで炒める。仕上げに白ごまをふる。味が足りない場合はしょう油で整える。

鰯のチーズトースト

材料（1人分）

●食パン（厚切り）：1枚　●鰯のしょうが煮：2、3匹　●マヨネーズ：大さじ1　●マスタード：小さじ1　●ピザ用チーズ：お好みの量　●プチトマト：1個

❶鰯をボールでほぐし、マヨネーズとマスタードであえる。
❷食パンにマヨネーズ（分量外）を塗り、上に❶をのせ、チーズをかけて、マヨネーズを細く絞る。
❸オーブントースターでこんがりと焼き目がつくまで焼く。彩りにプチトマトを添える。

横浜の環境を守る リサイクルデザイナーの素顔

栗原 清剛（1972年生れ）
リサイクル組合　副理事長

魅力的な笑顔で地元の皆さんに愛される

1972年生まれの栗原さんは、地元の小学校のPTA会長を6年務めていますが、役員や町内会の皆さんからは息子のように親しくしていただいているそうです。自慢は、自分が歌っているユーチューブの映像に1700アクセスあったこと。

夢はリサイクル組合が横浜市に欠かせない団体となり、世界にも紹介されるようになることです。

有限会社マルニ商店　TEL：045-311-5648
事業内容：カレット・金属くず・古紙等の回収、販売

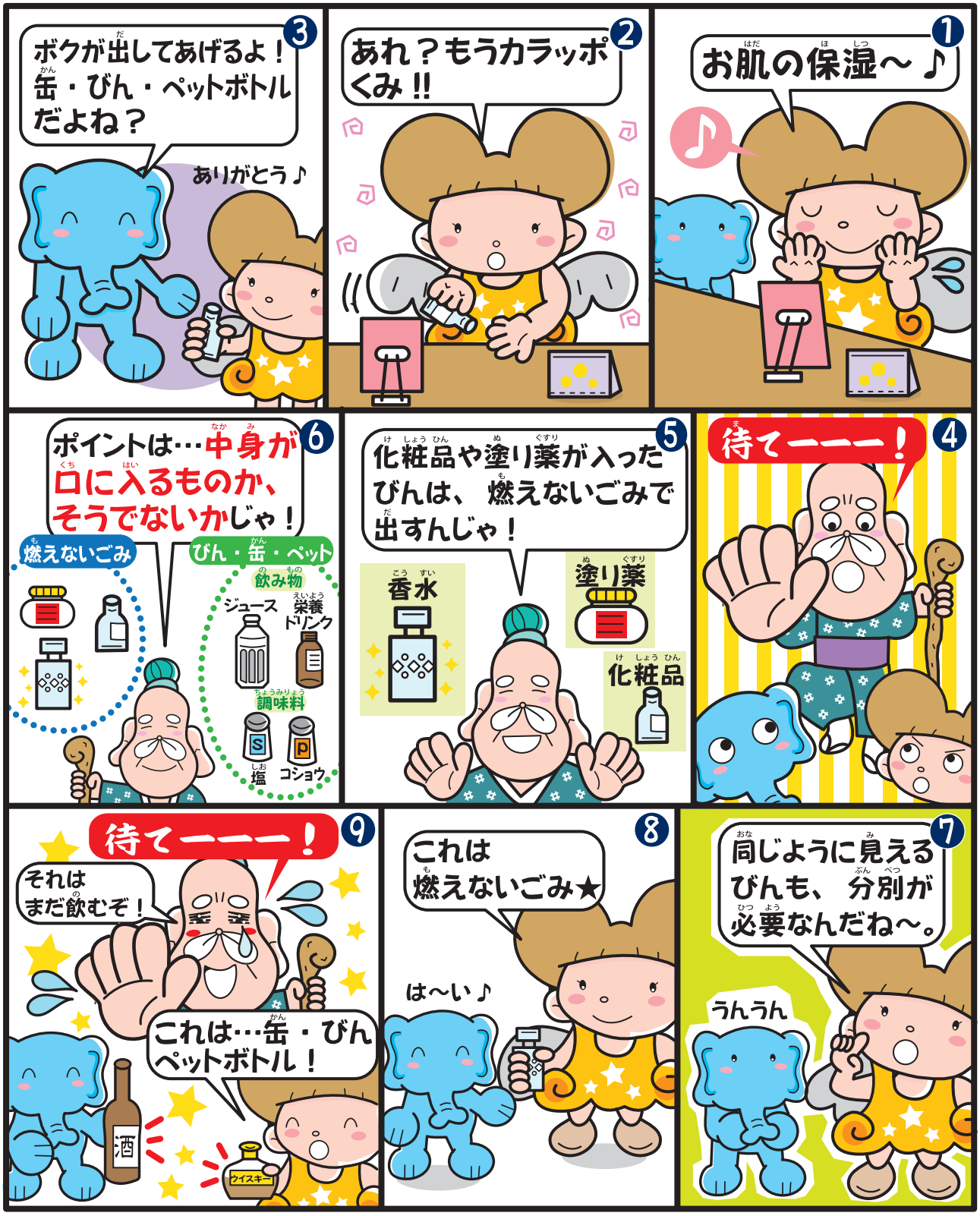
寺西 浩（1962年生れ）
リサイクル組合びん委員会委員長

気恥ずかしさ隠しイベント出演も務める

寺西さんは、22歳でびん商となり、以来30年以上この道一筋に取り組んでいます。仕事に対する姿勢は、「お客様のことを常に考え、誠意ある対応をする」こと。今は、新しく開発したリユースびんを広めることに力を入れています。組合のイベントやラジオへの出演など、苦手な分野にも積極的に参加して奮闘中です。

寺西容器店　TEL：045-741-2874
事業内容：リユースびんの回収、運搬

これでスッキリ！
りくみの分別講座
No.33
化粧品のびんの正しい出し方は？


1
お肌の保湿～♪
2
あれ？もうカラッポくみ!!
3
ボクが出してあげるよ！缶・びん・ペットボトルだよね？
ありがとう♪
4
待てーーー！
5
化粧品や塗り薬が入ったびんは、燃えないごみで出すんじゃ！
香水
塗り薬
化粧品
6
ポイントは…中身が口に入るものか、そうでないかじゃ！
燃えないごみ
びん・缶・ペット
飲み物
ジュース
栄養ドリンク
調味料
塩
コショウ
7
同じように見えるびんも、分別が必要なんだね～。
うんうん
8
これは燃えないごみ★
は～い♪
9
待てーーー！
それはまだ飲むぞ！
これは…缶・びんペットボトル！
酒
ウイスキー

表紙に登場！

西区浅間町五丁目町内会

今月号の表紙に登場していただいたのは、西区浅間町五丁目町内会の皆さんです。近くには、町名の由来にもなっている浅間神社や、地元の方たちから「ハマのアメ横」と親しまれている「洪福寺松原商店街」などがあります。

餅つき大会では、きなこ餅、あんこ餅、辛み餅、磯辺餅、納豆餅とお雑煮がふるまわれ、子どもたちに大人気。

毎年6月に行われる浅間神社例大祭では、浅間町の各町内会の神輿が出る。

洪福寺の境内で行われる納涼祭では、町内会の皆さんが出店を担当している。

「ハマのアメ横」として親しまれ、いつも賑やかな洪福寺松原商店街。

700年以上の歴史を誇る洪福寺は、町内のシンボル的な存在となっている。

洪福寺を中心にイベントで住民が交流

浅間町五丁目町内会は、国道16号（八王子街道）と県道環状1号が交わる洪福寺交差点を中心にした町内会です。すぐ近くには旧東海道が通っていますが、町内を幹線道路が交差しているため、ビルやマンションが立ち並ぶエリアでもあります。現在は約450世帯が加入していますが、開発が進んでおり、2年後には加入世帯が600世帯近くになる予定だそうです。

町内会長の田高龍治さんにお話を伺うと「町内に公園がないこともあり、住民の皆さんの交流を図るために、イベントに力を入れています。町内中央に位置する洪福寺さんに協力していただき、境内で納涼祭や餅つき大会などを開催しています。小さいお子さんを連れた若いご夫婦が楽しめるように、役員みんなで工夫しています」とのこと。

町内にはいくつものマンションが建ち並んでいますが、歴代の町内会長が積極的に働きかけたことで、新しい住民の皆さんもたくさん町内会に参加してくれているそうです。

大人気！りくみのトレペ

再生紙100%のトイレットペーパー。
芯なしタイプで、1ロール130mと通常の2倍の長さがあり、とってもお得です。

1パック6ロール入り・8パック1ケース
ご注文は1ケース（8パック）価格は **3,370円**

シングルセット

セット内容：
- りくみのトレペ24ロール
- りくみのティッシュ15箱
- 小結くんお試し巻き（30m）1巻

価格：1セット **3,020円**

●お問い合わせ・ご注文……横浜市資源リサイクル事業協同組合　事務局　TEL：045-444-2531　E-mail：mail@recycledesign.or.jp

2017年春号　通巻267号
2017年3月25日発行

RD NEWS

YOKOHAMA
横浜型地域貢献企業最上位認定取得

新リユースびんの取り組みが広がっています！

リサイクル組合では、リユースびんの流通量を増やすために、びん委員会によるさまざまな取り組みを行っています。リユースびんには、これまでも判別するための「Rマーク」がありましたが、マークが目立たず、わかりづらいところがありました。そこで、びんの首の部分に「リユースびん」という帯をつけて、見ればすぐにわかる新しいびんを製作しました。

2月12日（日）には環境省主催のイベント「みんなリユースしてるってよ！」において、この新リユースびんをお披露目。新しいびんを利用したドリンクの試飲も行われ、行列ができるほどの大盛況となりました。イベント翌日からは、一週間の期間限定で横浜ビールとオリツルサイダーが、藤棚商店街のスーパーマルヤマにおいて店頭販売されました。

新しく製作した
リユースびん

新リユースびんを使った
サイダーとビールを限定販売

ごみと資源の分別講座“出前講師”を自治会・町内会でご活用ください

リサイクル組合では、現場で働いているリサイクルのプロが、市内の自治会・町内会の皆さまのもとに出張し、無料で講座を行う移動リサイクル教室「出前講師」を通年で実施しています。

講座では、横浜市の基本的な分別を学んでいただき、ごみと資源を分ける理由、古紙や古布、鉄、スチール缶、アルミ缶、ガラスびんなどいろいろな資源物のリサイクルについて楽しくわかりやすく解説します。講義時間は通常60分ですが、ご相談していただければ変更も可能です。

新たに委嘱する環境事業推進委員への環境学習の場や自治会・町内会での３Ｒ、分別知識の再確認、疑問解消の機会として「出前講師」をご活用ください。

出前講師の講義の様子

問合せ先
横浜市資源リサイクル事業協同組合　事務局
「出前講師」　担当：清水
TEL：045-444-2531
E-mail：mail@recycledesign.or.jp

「リサイクルポート山ノ内」の見学会をご活用ください

リサイクル組合が運営する「リサイクルポート山ノ内」では、見学会をされる団体を随時募集しています。古紙選別作業や古紙を圧縮梱包するジャンボプレス機の見学に加えて、ごみの分別体験で15種類の分別の理由やリサイクルについて楽しく学べる講座をご用意しています。

古紙を大量に積んだトラックごと重さを量る大型計量器なども見所のひとつです。リサイクル作業の最前線を見て、生の声を聞くことで“環境”や“リサイクル”の現場を体感し、知識を習得する場としてお薦めです。

- 見学曜日：火曜日・木曜日（祝日を除く）
- 見学所要時間：約60分～ 90分
- 受け入れ人数：10名～ 40名
- 申込方法：FAXまたはEメール
- 備考：要予約

問合せ先
横浜市資源リサイクル事業協同組合　事務局
「リサイクルポート山ノ内見学会」
担当：山中　TEL：045-444-2531
E-mail：mail@recycledesign.or.jp

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます	http://www.recycledesign.or.jp/rd/	スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。		
リサイクルデザインの発行予定	夏号：6月25日	秋号：9月25日	2018年冬号：12月25日	2018年春号：3月25日

Rd リサイクルデザイン
2017年春号　通巻267号　2017年3月25日発行　発行人：高田哲一　編集人：藤本達也　印刷：太陽印刷工業株式会社　発行部数：51,500部
発行所：横浜市資源リサイクル事業協同組合　〒221-0054　横浜市神奈川区山内町13番地　TEL：045(444)2531／FAX：045(444)2532
本誌は古紙70%の再生紙と環境にやさしいNon VOCインキ「SOYAeシリーズ」を使用しています。
VOC FREE